



年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正隆

明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般にわたるご理解とご協力に対し、心より御礼申し上げます。

有田川町は平成18年に合併し、10年目を迎えます。皆さまと共に町全体の均衡ある発展を目指し、がんばってきましたが、おかげさまで町づくりも順調に仕上がりを喜んでいます。

今年には2015年の国わかやま国体、高野山開創1200年など和歌山県にとって飛躍の年であります。これを契機に観光誘致、活性化にも努めてまいります。

道路網整備なくして町の発展は考えられないと思っています。424号、480号などの国道、海南金屋線などの県道の整備を強く、国、県へ働きかけ、地域の活性化に努めてまいります。

また子育て支援と子どもたちが安心して勉学に励むことができる体制づくりも、より一層充実しなければなりません。近年、南海トラフの巨大地震など、地震や津波の発生が懸念されております。有田川町は和歌山県の津波の想定浸水区域外で、大災害が起こったときも、消防防災拠点である消防庁舎を防災の拠点として迅速に救助を行える体制を整えておりますが、常に防災意識を高め、危機感をもって取り組む体制づくりが大事です。

今後においてもいつも住民の安全・安心を第一に考え、豊かで住みよいまちづくりの実現と更なる町の発展により一層の努力をして参ります。結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

平成二十七年新年ごあいさつ

有田川町議会議長 湊 正剛

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。

平成18年にスタートした有田川町も、今年で十周年を迎えることができ、皆さま方のご協力と温かいご支援により、新しいまちづくりが着々と進んでおります。

さて、昨年を振り返りますと、さまざまなきごとがありました。二月には、私も16名の議員が選出されましたこと、改めて深く御礼申し上げます。私どもは、使命の重大さを痛感するとともに、気持ちを新たに、今後も有田川町並びに町民の皆さま方のために、努力して参りたいと思います。

国の内外では大きな風水害や地震が発生し、被災された方も多く、被害も広域的になってきております。また、本町においても、人口減少による過疎化や高齢化が進み、農林業の振興、南海トラフなどの巨大地震に対する防災対策など、様々な行政課題を抱えております。

私たち議会は、これらの課題に積極的に取り組み、住民の福祉向上のため、また安心安全の町づくりを目指して、最善の努力をして参らなければなりません。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、わが町においても今後ますます厳しい行財政運営が余儀なくされることでしょう。そうした中にもありまして、町民の代表としての認識に立ち、町民皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、議会としても全力を尽くしてまいりたいと思います。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとりまして明るくすばらしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。